

令和5年度 新潟大学 経済科学部

第3年次編入学・転部

試 験 問 題

【科 目】 専門科目〔経済学，経営学（企業経営及び会計），学際日本学〕

【時 間】 90分

- 【注 意】
- 1 この問題冊子は，試験開始の合図があるまで開かないでください。
 - 2 この問題冊子には，経済学，経営学（企業経営及び会計），学際日本学の3科目の問題が綴ってあります。
落丁・乱丁・印刷不鮮明の箇所などがあった場合は，監督者に申し出てください。
 - 3 解答は，3科目の中から2科目を選択して解答してください。
3科目とも解答した場合は，全ての解答を無効とします。
 - 4 解答用紙は，2枚配付します。1科目につき1枚使用してください。各解答用紙の指定箇所に，受験番号を記入し，解答する科目を○で囲んでください。
 - 5 問題の解答は，解答用紙に記入してください。
表面に記入しきれない場合は，右下に「裏面に続く」と明記し，裏面を使用してください。
 - 6 下書き用紙は2枚配付されます。
下書き用紙に解答を記入しても無効です。
 - 7 試験終了後，この問題冊子と下書き用紙は持ち帰ってください。

白 紙

令和5年度 新潟大学 経済科学部 第3年次編入学・転部 試験問題	専門科目 経済学 (1/2)										
[I] 以下の文章を読んだうえで、(1)から(4)の問いに答えなさい。 A国政府は、これから実施を計画している財政政策がA国経済に与える短期的影響を予測することを目的に、現在のA国経済を表すモデルを構築することにした。 A国は、閉鎖経済であり物価は常に1で固定されており、A国の各需要項目、貨幣需要と貨幣供給は、以下のようにモデル化できるとする。 <table border="0"> <tr> <td>消費需要</td><td>$C = 100 + 0.6Y$</td></tr> <tr> <td>投資需要</td><td>$I = 40 - 10r + 0.1Y$</td></tr> <tr> <td>政府支出</td><td>$G = 200$</td></tr> <tr> <td>貨幣需要</td><td>$L = 100 - 20r + 0.2Y$</td></tr> <tr> <td>貨幣供給</td><td>$M = 300$</td></tr> </table> なお、Yは国民所得、Cは消費、Iは投資、rは利子率、Gは政府支出、Lは貨幣需要、Mは貨幣供給を表している。 また、短期的な影響を予測するにあたり、A国経済は有効需要の原理にしたがっているものと想定することにした。 (1) 「有効需要の原理にしたがっている」とはどういうことをいうか。このモデルに即して説明しなさい。 (2) 「流動性のわな」とはどういうことをいうか。このモデルに即して説明しなさい。 (3) 上記に示した現在のA国経済のモデルにおける均衡国民所得と均衡利子率をそれぞれ求めなさい。 (4) A国政府が計画している財政政策を実施した結果、政府支出が200から300に変化したとき、A国経済のモデルにおける均衡国民所得の変化の大きさおよび均衡利子率の変化の大きさを求めなさい。		消費需要	$C = 100 + 0.6Y$	投資需要	$I = 40 - 10r + 0.1Y$	政府支出	$G = 200$	貨幣需要	$L = 100 - 20r + 0.2Y$	貨幣供給	$M = 300$
消費需要	$C = 100 + 0.6Y$										
投資需要	$I = 40 - 10r + 0.1Y$										
政府支出	$G = 200$										
貨幣需要	$L = 100 - 20r + 0.2Y$										
貨幣供給	$M = 300$										

令和5年度 新潟大学 経済科学部 第3年次編入学・転部 試験問題	専門科目 経済学 (2/2)
[II] 2種類の財を消費する消費者を考えよ。第1財の消費量を x_1、第2財の消費量を x_2 とする。どちらの財も正の実数の量において消費がなされる。消費者の効用関数 u を以下とする。 $u(x_1, x_2) = \sqrt{x_1 x_2}$ いま第1財の価格を p_1、第2財の価格を p_2 とし、この消費者の予算を I とする。 (1) 第1財の限界効用を数式で表わせ。 (2) $(x_1, x_2) = (4, 3)$ における限界代替率を求めよ。 (3) $I = 70$, $(p_1, p_2) = (5, 7)$ のときの両財の需要量を求めよ。 (4) いま $I = \bar{I} > 0$, $p_2 = \bar{p}_2 > 0$ で固定する。p_1 は変化するものとし、所与の $p_1 > 0$ に対しての第1財の需要量を $D(p_1)$ とする。$D(p_1)$ を数式で表わせ。 (5) $D(p_1)$ において需要の価格弾力性を求めよ。	

令和5年度 新潟大学 経済科学部 第3年次編入学・転部 試験問題	専門科目 経営学（企業経営及び会計） (1/1)
以下のすべての問題について、それぞれ答えなさい。 〔Ⅰ〕 ハーズバーグは、組織が従業員に与えることのできるインセンティブには2種類のものがあると主張した。この2つがどのような要因によるものなのか、それぞれについて説明し、現在の社会で企業の構成員の満足を高めるためにどのようなことが示唆されているかを説明しなさい。 〔Ⅱ〕 M・E・ポーターは、業界構造を決める5つの力として、ファイブ・フォース・モデルを示している。このモデルを簡単に説明し、新規参入もしくは代替製品（サービス）の脅威のどちらかについて、タクシー市場で起こり得る具体例を挙げ説明しなさい。法による規制は無いという前提で考えなさい。 〔Ⅲ〕 会計上、資産の評価基準は大きく2つに分類される。この2つの評価基準「取得原価基準」と「時価基準」について、それぞれ説明しなさい。その際、「取得原価基準」の利点と欠点にも言及すること。 〔Ⅳ〕 キャッシュ・フロー計算書の作成と表示の方法には「直接法」と「間接法」の2通りがある。それぞれについて説明しなさい。その際、それぞれの利点にも言及すること。	

令和5年度 新潟大学 経済科学部 第3年次編入学・転部 試験問題	専門科目 学際日本学 (1/2)
[I] 以下の事項の中から2つを選択し、それぞれ2～3行程度で説明しなさい。 (a) 国民国家 (b) サブカルチャー (c) 過疎化 (d) ホモ・エコノミクス (e) ポスト・トゥルース [II] 次の文章を読み、設問に答えなさい。 著作権の関係により この部分は 表記できません。	

令和5年度 新潟大学 経済科学部

第3年次編入学・転部

試験問題

専門科目

学際日本学 (2/2)

著作権の関係により
この部分は
表記できません。

(竹内幹「女性に「負」を選ばせてきた社会 活躍推進より差別清算が先」、
『朝日新聞』(東京版) 2022年7月21日付による)

設問

下線部「経済学は、人々がなにをどのように選択するかを分析し、社会学は人々がなぜその選択肢しかもっていないかを分析する」とはどういうことか。文中で挙げられている例を引きながら具体的に説明し、あわせて、あなた自身の考えを15行程度で述べなさい。